

ド

Aralia cordata



分類	被子植物双子葉植物綱ウコギ科	俗称		生活型	多年草
分布	北海道から九州に分布する。				
形態	茎は高さ 1～2m、ときには 3m に達し、花を除き全体にやや硬い短毛がある。葉は互生し、有柄、2 回羽状複葉で広三角形。小葉は卵形、細鋸歯がある。				
類似種					
生息場所	暖帯上部、温帯下部の林縁に生える。				
繁殖	花期は 8～9 月。複総状花序で短毛が密生し、雌雄同株。花は淡緑色で径 3 mm。5 数性。萼歯牙は三角形、花弁は長卵形、花柱は長さ 1 mm、下部は合着し柱状、上半は離生し、やや反曲する。果実は卵形で約 2 mm、黒塾する。 日本の山菜を代表する植物。				
他生物との関係					
配慮のポイント					

引用文献:『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物Ⅰ 双子葉植物』を改変